

事務事業評価シート兼総合計画実施計画書

管理コード	039	事業名	外国語指導助手の配置	分野	3	教育・学習	課名	教育課
施策コード	3212			基本施策	2	学びあい・教えあいのなかまづくり	班名	学校教育班
評価区分				大施策	1	学校教育の充実		
ローリング	○			小施策	2	21世紀にふさわしい教育		

◆事業の説明

◆事業の予算

(単位:千円)

事業の概要	英語教育の推進を図る。学級担任を補佐し、生きた英語を子どもたちに伝える英語を母語とする外国人を配置する。ネイティブスピーカーによる英語指導を効果的に行うことで、小学校中学校の児童生徒が意欲的に学習に取り組める環境づくりを行う。基本的には、小中学校をとおして、コミュニケーション能力を育成することが主なねらいである。そのために、英語を母語とするALTが学級担任とTT体制で授業を行っている。	会計	1	款項目	9	1	2	細目	教育委員会事務局費	
			H28決算額		H29決算見込		H30事業費		H31事業費	H32事業費
		直接事業費	9,621		9912					
		人件費								
		事業費合計	9,621		9912					
捕捉説明	学習指導要領の改訂に伴い、小学校高学年での外国語科の導入、中学年での学国語活動の導入が進められる。外国語教育の係る時間数の増加に伴い、ALTを活用した指導体制のさらなる充実が必要である。また、小学校教員の指導力の向上もALTの活用に影響してくる。	国庫支出金								
根拠法	学校教育法 外国語指導助手の請負契約による活用について	県支出金								
計画等	各学校における年間指導計画による	地方債								
		その他								
		一般財源	9,621		9912					

◆事業の対象・活動・成果

◆事業の指標

対象(誰・何に)	町内小中学校児童・生徒	対象	指標	単位	H28実績	H29見込	H30計画	H31計画	H32計画
活動(何を)	小学校外国語活動における英語教育指導の補助 中学校英語科におけるTT授業	活動	児童	人	497	473	468	463	458
成果(めざす形)	外国語によるコミュニケーションにおける見方考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質や能力を育成する。また、英語の教科化に向け、学級担任の指導力を向上させていく。	成果	生徒	人	261	261	259	257	255
			外国語活動						
			英語のコミュニケーション力						

◆事業の現況評価

◆事業の評価内容

必要性	ニーズ、事業の必要性は薄らいでいませんか？ [5点]ますますニーズは高くなっている	適切性	事業の手段(やり方)は適切なものとなっていますか？ [3点]どちらも言えない	評価内容の説明	ALTの外部人材を活用することで、子どもたちの外国語に対する興味関心、学習意欲が高まるだけでなく、基本的な会話やクラスルームイングリッシュについてネイティブな発音を体で感じ、豊かな表現力を身に付けることにつながる。また、学級担任の指導力向上や中学校英語へのスムーズな接続についても効果的である。
妥当性	行政が関与しなければならない事業ですか？ [4点]法的な問題などがあり行政が行うべき事業である	有効性	事業の目的(成果)は達成されていますか？ [4点]おおむね目標水準に達している		
公平性	受益者に偏りはありませんか？ [4点]目的とした対象者に対しては概ね広く便益を提供している	効率性	コスト効率、人員効率は高まっていますか？ [3点]どちらも言えない		
				事務事業の実施状況	今年度の初めはALTを主体とした授業体制が見られたが、今後の小学校英語の教科化を見据え、ALTの補助的な役割になるような指導体制を少しずつ確立させることができてきた。

◆事業の改善改革・今後の方針

改善改革の提案	新学習指導要領への改訂に向け、小学校英語(外国語活動)の教科化に備える。学級担任の英語指導能力の向上をサポートする。そのための校内研修を積み重ねる際も、ALT担当の活用も考える。	主管課方針	小学校における外国語(英語)の教科化に向け、学級担任の指導力を向上を図っていく。また、指導要領の改訂に伴う、授業時間数の増加も考慮しながら、学級担任とALTの効果的な指導体制を構築していく。		
		主管課長名	山本 清和	短期方針	現状維持
課題	小学校高学年における英語の教科化、中学年における外国語活動の導入に向け、小学校教員の指導力、負担感、小中の連携などに課題が残る。	決定権者	諸坂 佐利	短期方針	継続(改善・効率化)